



「宇宙」をテーマに開催 七沢森の芸術祭

校長 大谷 京司



2月18日(土)、青く澄みきった空のもと、和太鼓集団 zigzag さんとのコラボレーションによる木星(ジュピター)の合奏を皮切りに、令和4年度の七沢森の芸術祭を開催しました。

今年度のテーマは「宇宙」ということで、「宇宙服エリア」「月面エリア」「地球エリア」の各エリアには、今までの作品展示に加えて、宇宙に関する子どもたちのアイデア満載の飾りつけや催し等も行われました。また、各エリアのミッションを見事クリアした人には手作りのプレゼントも用意されていました。



一方、多目的ホールでは、今年度より始めた「プロジェクト」(自分の問いに対して答えを見つけ出そうとする探究学習)のポスターセッション形式による発表を行いました。

自分が探究してきた成果をパネルにして、その前で関心をもって立ち止まるお客さんを待ちます。お客さんから説明を求められると、そのプロジェクトを行うことになったきっかけや内容、考察、まとめや感想などを発表していきます。お客さんからはいろいろな質問が出ますが、その都度自分で考えてわかりやすく答えていきます。中には、探究していく中で制作したものやその工程を動画で撮ったものを見せてくれる児童もいました。何度か説明していくうちにだんだんと発表も上手になり、質問にも自信をもって答えられるようになっていく様子が伺えました。お客さんから発想や探究の仕方、まとめ方など良かった点を評価されたことで、子どもたちの自己肯定感もとても高まったことと思います。熱心に参観、ご協力していただきました保護者ほか大人の皆様ありがとうございました。



戦争の語り部 東京大空襲の悲惨さを語る

昭和 20(1945)年 3 月 9 日深夜の空襲警報から 11 日までの地獄絵のような様子を克明に語ってくださったのは、今年 93 歳になられる辻さんです。

当時、中学 2 年生だった辻さんは、お住まいが軍需工場が立ち並ぶ江東区だったこともあり、大変激しい爆撃を受けたとのこと。防空壕の中にいたのでは蒸し焼きになってしまうと、焼夷弾の降り注ぐ中、死体が積み重なるように転がっているのをかきわけるように家族で逃げ、途中、幼い妹 2 人の命が失われるという大きな悲しみの中、自身も死との境をさまよいながらも何とか生き抜いたそうです。

「日本は今平和な時代が続いているけれども、決してあのような悲惨な戦争を繰り返してはいけない。そのためには教育がとても大事なんです。」と子どもたちに熱くお話してくださいました。



令和 4 年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果より

6～7月に実施した全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果がスポーツ庁より届きました。

男子 平均	身長 (cm)	体重 (kg)	上体起こし (回)	ソフトボー ル投げ(m)
全国	139.5	35.5	18.9	20.3
本校	144.1	34.9	20.0	14.8

女子 平均	身長 (cm)	体重 (kg)	上体起こし (回)	50m走 (秒)
全国	141.3	35.4	18.0	9.7
本校	144.3	34.9	22.5	10.6

右の表は、全国と本校の現5年生の結果の一部です。児童質問紙の「学校の体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをしていますか。」の問いに対して、男女ともに1週間の全曜日、全国よりも運動をする時間が少ないことがわかりました。授業の体育はもちろんですが、それ以外でも体を動かす時間と運動量を増やしていくことが大切だと思われます。個票は近日中に 5 年生児童に配付します。

薬物乱用教室

厚木警察署スクールサポーターの梅津さんに、たばこやお酒、麻薬等が成長期の子ども達の心身に及ぼす影響についてお話いただきました。依存という点では、ゲームやネットも薬物同様抜け出せない恐ろしさがあり、まずは健康的な日々の生活をきちんと送ることの大切さを強調されていました。



姿を変える大豆プロジェクト 味噌作り

今年度も子どもたちが栽培、収穫した津久井在来大豆を使って白井さんにご指導いただき、味噌作りを行いました。



12kgの煮大豆をビニール袋に入れたものを子どもたちが足や手でつぶしていきます。大豆をつぶすときのぬくもりと感触は子どもたちの体に染みつく心地よいものだと思います。その後、麴と塩を混ぜて味噌だまを作り、勢いよく樽に投げ込み上から圧力をかけてならしていきます。

今年の秋ごろには、熟成された美味しい自家製味噌が出来上がる予定です。

